

令和5年度 第2回長岡市環境審議会の意見等のまとめ

第2回長岡市環境審議会でもいただきましたご意見等については、次のとおり対応しました。

No.	区分	ページ	委員意見等	対応内容
1	第4章 3(1) 人口	19	少子高齢化は重大な問題。長岡市の現状と取組を文章として入れてもよいのでは。	「第2期長岡まち・ひと・しごと創生総合戦略」を元に、本市の取組方針を追記しました。
2	第4章 3(2) 産業	20	平成時代のグラフも追加したらどうか。農業人口は減っているのかとか、商業従事者は増えているのかとか、産業従事者などの動向が見えると対策を立てる参考になる。林業はCO ₂ を吸収するために大事。長岡市は一次産業の従事者が減っていると聞く。後継者がいないなど問題になっている。そういう対策をここに入れたらいいのかなと思った。	産業のなかでどのようにCO ₂ が出てくるのかという切り口で資料を作成するため、産業部門の業種別CO ₂ 排出状況を追加しました。
3	第4章 3(3) 交通・運輸	21	バスなどに乗らずに自家用車に乗る人がもし増えているとしたら、交通・運輸に対してどういう観点で取り組めばよいのか。公共交通を応援しようとか、公共交通に関する政策の文章があってもよいのでは。	交通政策に関する記述を追記しました。
4	第4章 4(1) 再生可能エネルギーの導入状況	22	公共の建物の設備の導入例を具体的に書いてもらうとよい。	市の公共施設の再生可能エネルギー導入例を追記しました。
5	第4章 4(2) 再生可能エネルギーの導入可能量	23	MWやTJの説明があった方がよい。	注書きを追記しました。
6	第6章 1(2) 計画の目標	34	注書きで「カーボンニュートラル チャレンジ戦略と数値が異なる」と記載されているが見る側としてはわからなくなる。他市と比較する際に自治体排出量カルテを使用することはよいが、イメージとしては戦略の数値と一致させて説明していった方がよい。	過去のデータを確認した結果、自治体排出量カルテと大きな違いがないので、計画の基準値・目標値を、チャレンジ戦略と一致させました。
7	第6章 2 温室効果ガス削減に向けた取組	36	基本方針1・2は各取組を行ったことによるCO ₂ 削減量が記載されているが、基本方針3には記載されていない。記載した方がよい。	基本方針3にCO ₂ 削減量を追記しました。

No.	区分	ページ	委員意見等	対応内容
8	第6章 2(5) 吸収源促進エリアの設定	39	吸収源促進エリアについては、緑地を増やす、公園を増やす、森林を保全するなどが測定の対象となってくるのではないかと思う。	ご指摘の分野で測定できるようにしていきます。
9	第6章 2(5) 吸収源促進エリアの設定	39	有害鳥獣が人の生活圏まで現れてきている。手つかずの里山が増え、緩衝帯が無くなってきている。森林整備も検討していただきたい。	p.39の吸収源対策の部分に追記しました。 また、農林整備課、鳥獣被害対策課と情報共有しました。
10	第6章 2(6) 脱炭素社会につながる行動変容	40	フードロスを強く意識している。小中学校でも、環境に取り組める授業や行事があるといいと思う。	p.40にフードロスの講座を追記し、第8章にフードロスについて記載しました。 また、環境業務課、学校教育課と情報共有しました。
11	計画全般	2, 40, 51	CO2を考える際に、製作工程だけを考え気味。ライフサイクルアセスメント（製品・サービスのライフサイクル全体…資源採取—原料生産—製品生産—流通・消費—廃棄・リサイクルにおける環境負荷の評価）を考えなければならない。これを見える化していった方がよい。	第8章等に記載しました。
12	計画全般	46	環境はもちろん大事だが、人間がどう思うかということも大事。エコだからと言ってエアコンを我慢するのはダメ。Well-being（ウェルビーイング…心身と社会的な健康を意味する概念）を考えつつ環境施策を進めるのが長岡らしさに繋がるのでは。	第8章に記載しました。
13	周知方法	-	市民に「豪雪地帯でも太陽光発電は有効」ということを知らせれば変わると思う。市の事例なども紹介すると説得力が増す。	長岡市カーボンニュートラルチャレンジ戦略2050に沿って進めているポータルサイトなどで情報発信を強化していきます。
14	施策	-	リフォーム補助金などが支援の必要な人に届くといいと思った。	都市政策課と情報共有しました。